

アメリカ穀物協会 2023/24 トウモロコシ収穫時品質レポートは過去最大収穫量と最小の破損粒・異物（BCFM）を示す

本日公表された今年 13 年目となるアメリカ穀物協会 (USGC) の [2023/2024 年トウモロコシ収穫時品質報告書](#) によると、2023 年の米国のトウモロコシの収穫量は過去最大で、破損粒・異物(BCFM)は過去最低の割合でした。2023/2024 年トウモロコシ収穫時品質報告書によると、2023 年の米国のトウモロコシの収穫量は過去最大で、破損粒・異物(BCFM)は過去最低の割合でした。

4 月と 5 月は暖かく乾燥した天候に恵まれ、生産者は予定より早く作付けを行うことができ、6 月は乾燥が続くことが懸念されましたが、夏の後半には健全な降雨量が戻ってきました。これにより、作物は適切に成熟し、3 億 8,697 万トン(152 億 3,400 万ブッシェル)のトウモロコシがタイムリーに収穫されました。

試験に供された代表的なサンプルの平均集計の品質は、米国 No.1 等級の等級要件よりも優れていました。また、サンプルの 88.0%が米国 No.1 等級の要件を満たし、96.7%が米国 No.2 の等級要件を満たしていることも示されました。

「アメリカ穀物協会は、この年次報告書で本年の米国産トウモロコシの品質と豊富な収穫量を前年比で証明することができました。バイヤーの皆様には透明性の高い情報を提供することで、十分な情報に基づいた意思決定を行い、市場の発展、貿易の実現、生活の向上に向けて新たな一歩を踏み出すことを可能にします」と、アメリカ穀物協会会長のプレント・ボイドストーンは述べています。「この驚異的な量により、米国は世界有数のトウモロコシ輸出国であり続け、世界のトウモロコシ輸出の推定 26.4%を占めています。」

このレポートは、トウモロコシの生産と輸出の上位 12 州内の特定の地域から採取された 611 のイエローコーンサンプルに基づいています。生産地の穀物保管施設への入荷サンプルを採取し、収穫産地での品質を測定・分析し、多様な各地域における品質特性のばらつきに関する代表的な情報を提供しています。



今年のトウモロコシタンパク質濃度は 8.8%を記録し、過去 5 年間の平均 8.5%から改善しました。また、今年のトウモロコシは、過去 5 年間の平均と比較して、平均総損傷と平均水分含量が低くなっています。

今年のトウモロコシの化学組成は健全な範囲にとどまり、試験されたサンプルの 99.5%がアフラトキシンの米国食品医薬品局(FDA)の規制レベルを下回り、テストされたサンプルの 100%がデオキシニバレノールの FDA 勧告レベル 5.0ppm を下回っていました。さらに、98.3%がフモニシンについて FDA の最も厳しいガイダンスレベルである 5.0ppm を下回っていました。

アメリカ穀物協会は、12 月 12 日に中国で始まる一連の展開イベントを皮切りに、世界中のお客様に調査結果を提示します。調査結果の説明プレゼンテーションは 2024 年第 1 四半期までインド、韓国、パナマ、台湾で続けられ、今年のトウモロコシの品質に関する明確な期待を参加者に提供する予定です。日本では東京にて 2024 年 1 月 11 日（木）にセミナーを開催する予定です、詳細は改めてお知らせいたします。これらのイベントでは、作物の品質に関する情報に加え米国のトウモロコシの格付けと取り扱いに関する最新情報を提供し、輸入業者とエンドユーザーは、米国産トウモロコシが輸出チャンネルを通じてどのように移動および管理されているかをよりよく理解していただくことを可能とします。

2023/2024 USGC トウモロコシ収穫品質レポートの全文は[こちら](#)をご覧ください。関連するロールアウトイベントの最新情報は、[アメリカ穀物協会のウェブサイト](#)でご確認ください。収穫時に続いて輸出貨物品質レポートである 2023/2024 輸出貨物品質レポート（2023/2024 Corn Export Cargo Quality Report）は、輸出ターミナルの積み込み時点でトウモロコシの品質を試験するもので、2024 年初頭に利用可能になる予定です。アメリカ穀物協会ではまた、米国の農家が経営をより持続可能なものにし、より少ない資源でより高い収量を生産するために努力を続けています。米国産トウモロコシの持続可能性慣行とアメリカ穀物協会のトウモロコシ持続可能性保証プロトコル(CSAP)の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。